



夫婦でバタバタの毎日

核家族の増加で夫婦二人で育児を担うことが増えてきています。内閣府の「男女共同参画白書・令和4年版」によると、夫婦のいる世帯全体の約7割が共働き世帯です。経済的には平均世帯収入は増えていますが、生活や子育てに余裕が感じられない若い夫婦が増えてきています。日々、いろいろな悩みを持ちながらも一生懸命に子どもを育てているのはすごいことだと社会全体で理解してあげたいですね。

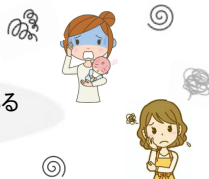
育てる責任の重圧

夫婦で子育て本当に頑張っています。

特に子どもと多く向き合う時間の多いママは・・・



「いのちを育てる」ことがプレッシャーになっていることがある
「子供を育てる責任の重圧に押しつぶされそうになる」



【自分が立派な完璧な母親でないことに自信をなくしていることがあります】

実際に完璧な母親はいるのでしょうか。赤ちゃんを日々過ごしているだけで素晴らしいことです。

あなたは頑張っているから大丈夫
一生懸命にやっているから大丈夫
赤ちゃんはママのそんな気持ちをわかっているから大丈夫

行政の子育て支援

子育て支援として、2019年12月に産後ケア事業が法制化。2025年までに全ての市町村で産後ケア事業を実施することが努力義務となっています。市町村の取り組みには地域格差がありますがお住まいの市町村に確認すると良いでしょう。また、行政の支援ではなくとも民間のベビーシッター・家事代行サービス・食事の宅配サービスなどもあります。

※「母子保健法の一部を改正する法律」により、産後ケアを必要とする出産後1年を経過しない女性及び、乳児に対して心身のケアや育児のサポートなどを行い、産後も安心して子育てをできる支援体制を確保するものがあります。



5月5日の端午の節句とこどもの日はお子さまの成長を祝う日です！
こいのぼりや五月人形は「強く健康に育ってほしい」と願うママパパの気持ちが込められたお飾りで、お祝いには欠かせないものです！



5月5日 こどもの日であり端午の節句でもあります！

こどもの日・・・「こどもの人格を重んじ、幸福をはかるとともに、母に感謝する」ことが趣旨で、男女問わずこどもの成長を願う日とされています。

端午の節句・・・季節の節目となる日に制定された五節句のひとつです。男の子の成長を祝い、健康を祈る行事とされています。

こいのぼりを飾る意味

○こいのぼりを飾るのは、中国の故事「登竜門」が由来とされています。「登竜門」は、山奥にある流れの速い滝を立派に登り切った「こい」が、龍になって天に上る話です。そのため「こい」は逆境や苦難を乗り越えて立身出世する縁起物として扱われています。
○「こい」が沼でも池でも生きられる強い生命力を持っていることも理由のひとつです。

五月人形



○お子さまを守るために家の中に飾る風習です。「大事なわが子を守ってくれるように」との願いを込めて！

男の子も女の子も関係なく、お子さまの成長を願う日のため、女の子のご家庭でこいのぼりを飾っても問題ありません！ピンク色のかわいいこいのぼりも販売されているので、お子さまが望む際は飾ってあげるのも良いと思います！



伝統的な行事食

かしわもち 「家計が絶えない」「子孫繁栄」と結び付け、端午の節句に食べる縁起物！
ちまき 中国から伝わった食べ物！ちまきには厄払いの力があるとされています！

こどもの日おすすめご飯



「5月の代診のお知らせ」

13日と27日の水曜日、19日の火曜日の午後は畠添先生の診察になります。診断書の記入や体重チェック、臍ヘルニアの診察の方は院長先生の診察日に来院していただくようお願いいたします。

「診療時間」月曜・火曜・木曜・金曜：9時～12時、14時～18時（17時30分受付終了） 予防接種専門外来：14時～15時
水曜：9時～12時、土曜：9時～13時
健康診断（4か月・10か月）：月曜・火曜・水曜・木曜・金曜（予約制）

